

施設名	大田発電所 轟(導水)隧道								
所在地	鹿児島県 日置市								
管理者等	九州電力								
施設種類・分野	河川								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>大田発電所(旧名:島津発電所)は、1904(明治37)年水利用許可を受け、1908(明治41)年に島津家の自家用発電所として運転を開始し、15km離れた島津家の営む串木野神岡鉱山に電気を供給していました。神之川の大田ダムより取水した発電用の水は、水路や2つの沈砂池を経て、導水トンネル(轟隧道)を通り、ヘッドタンク・発電施設へと至ります。導水トンネル(轟隧道)の出入口の壁面は切石積みで、石造アーチトンネルの一部が確認できます。(参考文献より引用)</p>								
	  								
	参考文献より引用								
築造時期	明治後期			時期詳細	明治41年				
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	-								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	九州地域づくり協会資料HP <a href="http://dobokuisan.qscpua2.com/">http://dobokuisan.qscpua2.com/</a>								
管理者等のHP (URL等)	-								